

○市内高等学校での出張申請受付

1. 概要

- 市内高等学校に市職員が赴いて、希望する3年生及び教員を対象に出張申請受付を実施
- 事前に申請予定者のID付き申請書を準備、交付は本人限定受取郵便で実施

2. 実施詳細・ポイント

➤ 背景

本市の高校3年生は卒業後、進学又は就職のためほとんどの生徒が市外へ転出している。就職、アルバイト等にマイナンバーが必要となったり、運転免許証以外の身分証明として使用できることをPRし、カードの取得を促している。

➤ 実施の流れ

1. 高校へ一括申請の案内
 - 市内高校の3年生学年主任へ協力を依頼し、高校を通じて保護者の同意を求める。
2. 一括申請の受付
 - 希望日時と申請者名簿を提出してもらい、実施日調整後、高校に連絡する。
3. 出張申請の実施
 - 事前の申請者名簿により、申請予定者のID付き申請書を準備し持参。
 - 会議室において、市職員が一人ずつ申請書を受け付ける。

➤ 実施高校

- 県立五島高等学校 (1/15 15人、2/11 45人 2回実施)
- 県立五島海陽高等学校 (1/30 19人 1回実施)
- 県立五島南高等学校 (実績:1/9 教員12人、生徒11人 1回実施)



申請受付風景(R2.1.9 五島南高等学校にて)

3. 効果

- 事前に高校を通じて必要書類を周知したため、短時間で効率的に受付ができた。
- 普段通学・通勤していて、市役所に出向くことがないため、学校で申請できることは生徒・教員にとって有効な取り組みとなった。

○開局30周年に併せた郵便局での出張申請受付

1. 概要

- 登別新生郵便局が開局30周年を迎えるにあたり、イベントの一つとしてマイナンバーカードの出張申請受付を実施してほしい旨依頼があり、実施に至った。
- 内閣府から貸与されているマイナポータル用端末を使用した写真撮影・オンライン申請
- 出来上がったマイナンバーカードは本人限定受取郵便で交付

2. 実施詳細・ポイント

- 住民周知については、登別新生郵便局利用者に対し、郵便局が周知を行った。
- 周知するにあたり、申請に必要な持ち物等については、あらかじめ市から郵便局に伝えた。

【実施方法等詳細】

- ・実施期間 1日間(10時から15時)
- ・実施場所 登別新生郵便局
- ・市職員配置数 2人
- ・実施方法
 - マイナポータル用端末を使用し写真撮影・オンライン申請
 - 本人確認書類のコピーは郵便局のコピー機を使用して実施
 - 本人限定受取郵便で交付



3. 効果

実績:1日間、11人

市役所に一度も出向くことなく申請から受取りまで完了できるため、大変好評だった。

○地区ごとに希望者を募り公民館で出張申請受付・出張交付

1. 概要

- 地区会館(公民館等)に市職員が赴いて、手書き申請書を使用し出張申請受付を実施
- 後日、再度地区会館(公民館等)に赴いて、カードを一括交付

2. 実施詳細・ポイント

➤ 背景

- マイナンバーカード普及のため、区長会等に出張申請を提案し、希望した地区から申出を受けた

➤ 実施の流れ

1. 地区住民への事前周知等(申請当日の2、3週間前～)
 - ◆ 地区の代表者と日程を調整し、案内チラシを地区町内の回覧や町内全戸配布などで地区住民に周知
 - ◆ 事前に希望者を募集出来る場合は、希望者リスト作成を地区代表(区長会長等)に依頼
2. 希望者への事前案内(申請当日の1週間前～)
 - ◆ 希望者リストをもとに申請案内送付
3. 申請受付(実施時間:1地区あたり1日1時間程度、対応職員数:5～6人程度)
 - ◆ 地区会館(公民館等)で申請者の写真撮影、申請受付を実施
4. 出張交付(実施時間:1地区あたり1日1時間程度、対応職員数3～4人程度)
 - ◆ カードが出来上がった段階で、地区代表(区長会長等)と日程調整を行い、交付案内を本人へ送付し、交付



3. 効果

- 実績 平成30年度 実績:229人(9地区で実施)
令和元年度 実績:83人(2地区で実施) ※ 令和元年12月までの実績
- 住民にとっては、役所に行くことが億劫
⇒地区内で手続きが出来ることが喜ばれ、申請増加に繋がった
- 事前に希望者が確認できる場合は、本人宛に詳細な申請案内を送付する
⇒申請当日、スムーズに受付することが出来た

○市内自治会館での出張申請受付

1. 概要

- 市内自治会の依頼により、自治会館に職員が訪問し、タブレットを使用して出張申請受付を実施。
- マイナンバーカードは後日、本人限定受取郵便にて自宅へ送付。

2. 実施詳細・ポイント

➤ 実施の流れ

①住民への事前周知

- ・自治会長から周辺住民へ案内していただき、申請希望者のリストをいただく。
- ・対象住民へ申請セット(マイナンバーチラシ・必要書類の案内・暗証番号票・通知カード紛失届)を事前に自治会長からわたしていただき、当日の流れを説明していただく。
- ・申請予定者のQRコード付き申請書を印刷しておき、当日持参する。

②申請受付当日(午前9時から午後3時まで)

- ・待合スペースと申請ブース2ヶ所を設置。
- ・待合スペースで受付を行い、申請ブースにて、タブレットでの写真撮影・申請、マイナンバーカードの説明、書類の記入。(待合受付:職員1人、申請受付:職員2人・臨時職員4人)

③交付

- ・本人限定受取郵便にてご自宅へ送付。

3. 効果(申請受付:1日間 実績:45人)

- 高齢の方や小さいお子様がいるご家庭等、市役所まで来るのが難しい方が多かったため、有効な取組であった。
- 事前に必要書類等案内を行っていたので時間短縮になった。もし不足書類があっても自宅付近のため取りに帰ることが出来るのでスムーズだった。

○希望のある住民に対して出張申請受付

1. 概要

- 問い合わせのあった住民の自宅等に職員2人で出向いて出張申請受付を実施。
- 手書き申請書を使用し、交付は本人限定受取郵便にて実施。



【ポイント①】
背景用に青の模造紙を持参
撮った写真をその場で現像(モ
バイルプリンタで印刷)

2. 実施詳細・ポイント

➤ 背景

- 当町には写真屋がなく、証明写真を撮る機械が町の中心に1台しかない。また、当町の65歳以上の割合は全体の約36%であり、情報弱者や交通弱者は写真を撮る事ができない。そこで職員が出向し、マイナンバーカードの申請を実施するというもの

➤ 実施の流れ

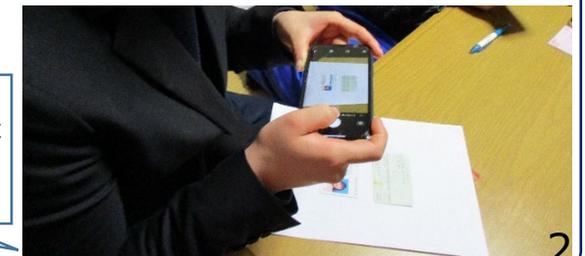
- 1. 事前周知(町広報誌8月号、9月号)
 - ◆町で作成したチラシを町広報誌に折込
 - ◆完全予約制とし、4情報を確認したうえで申請書を出力する
- 2. 申請受付
 - ◆住民の自宅や、複数名の場合は集会場などに出向き、申請受付を実施
- 3. 交付
 - ◆暗証番号設定依頼書に基づき、職員2名で相互確認のうえ入力し、本人限定受取郵便で交付



【ポイント②】
暗証番号設定依頼書を2枚記
載してもらい、職員と住民で割
印をし、相互確認をする。

3. 効果(実績:計9人)

- 情報弱者、交通弱者に対してのサービスと考え実施してきたが、想定よりも希望者が少なかった。口コミでもなかなか広がらないため、より広報効果を高めるために、地元紙の折込を実施(1,200世帯)。



【ポイント③】
本人確認書類をデジカメで撮
影し、庁舎に持ち帰った後に
紙で保管する。

○青色申告会場での出張申請受付

1. 概要

- 会場は、青色申告会 会議室を使用。実施日は、月ごとに調整。
- 周知及び会場設営は青色申告会にて実施。
- 受付時間を30分ごと4ブロックに設定(①13時30分～[25人] ②14時～[25人] ③14時30分～[25人] ④15時～[25人])し、窓口の分散化、混雑防止を図る。
- 事前にID付き申請書を用意するとともに、写真撮影サービスを実施し、対象者も青色申告会会員家族まで広げた。
- J-LISよりマイナンバーカード到着後、暗証番号を設定し、申請者宛に本人限定受取郵便にて交付。

2. 実施詳細・ポイント

➤ 経緯

確定申告時等にマイナンバーカードを使用する機会が多い団体に対し、2017年度より一括申請受付について説明に出向いていた。静岡青色申告会においては、青色申告特別控除の税制改正もあり、2020年までにすべての会員にカードを所持させたいとの会の要望があり、2018年に一括申請を試行実施し、2019年度から本格実施。

➤ 募集方法

- ①チラシ、HP掲載等による募集活動の実施。
- ②申込受付し、「申請者リスト」を作成。
- ③静岡市へ電子申請システムにて提出。
 - ≫≫ 日常的に出入りしている青色申告会にて募集することで、申請者増が見込まれる。
 - ≫≫ LGWAN上に構築された電子申請システムを活用し、個人情報漏洩防止。

➤ 当日の流れ

① 受付	: 青色申告会職員	1人	
② 審査	: 葵区職員	3人	駿河区職員 2～3人
③ 本人確認書類コピー	: 戸籍管理課職員	1～2人	
④ 写真撮影・印刷	: 葵区職員	1人	青色申告会職員 2人

≫≫ ID付き申請書を用意し、審査時間短縮(電話番号、日付、氏名のみ記入)

≫≫ 当日までに暗証番号等を記入し、審査時間短縮

3. 効果

実施月	実施回数			計
	1	2	3	
7月	76	65	52	193
9月	66	57	42	165
10月	29	16		45
11月	77	28		105
	合計			508

